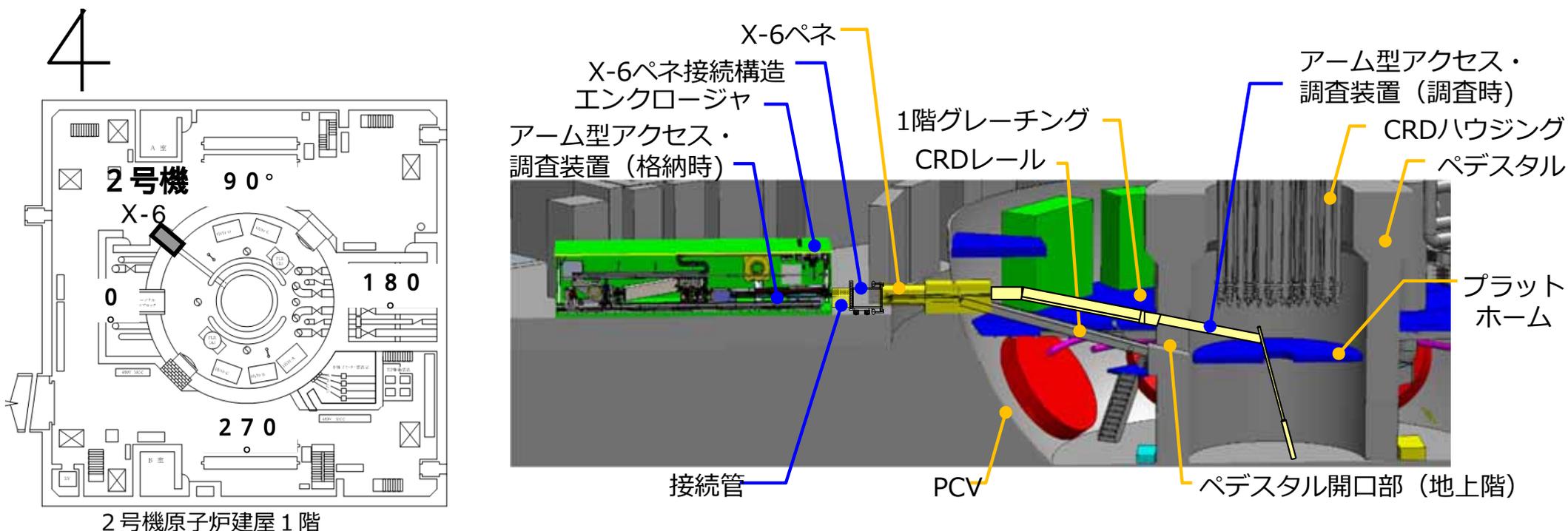


福島第一原子力発電所
2号機原子炉格納容器内部詳細調査について

2018年7月25日
東京電力ホールディングス株式会社

2号機PCV内部詳細調査（2019年度予定）（1/2）

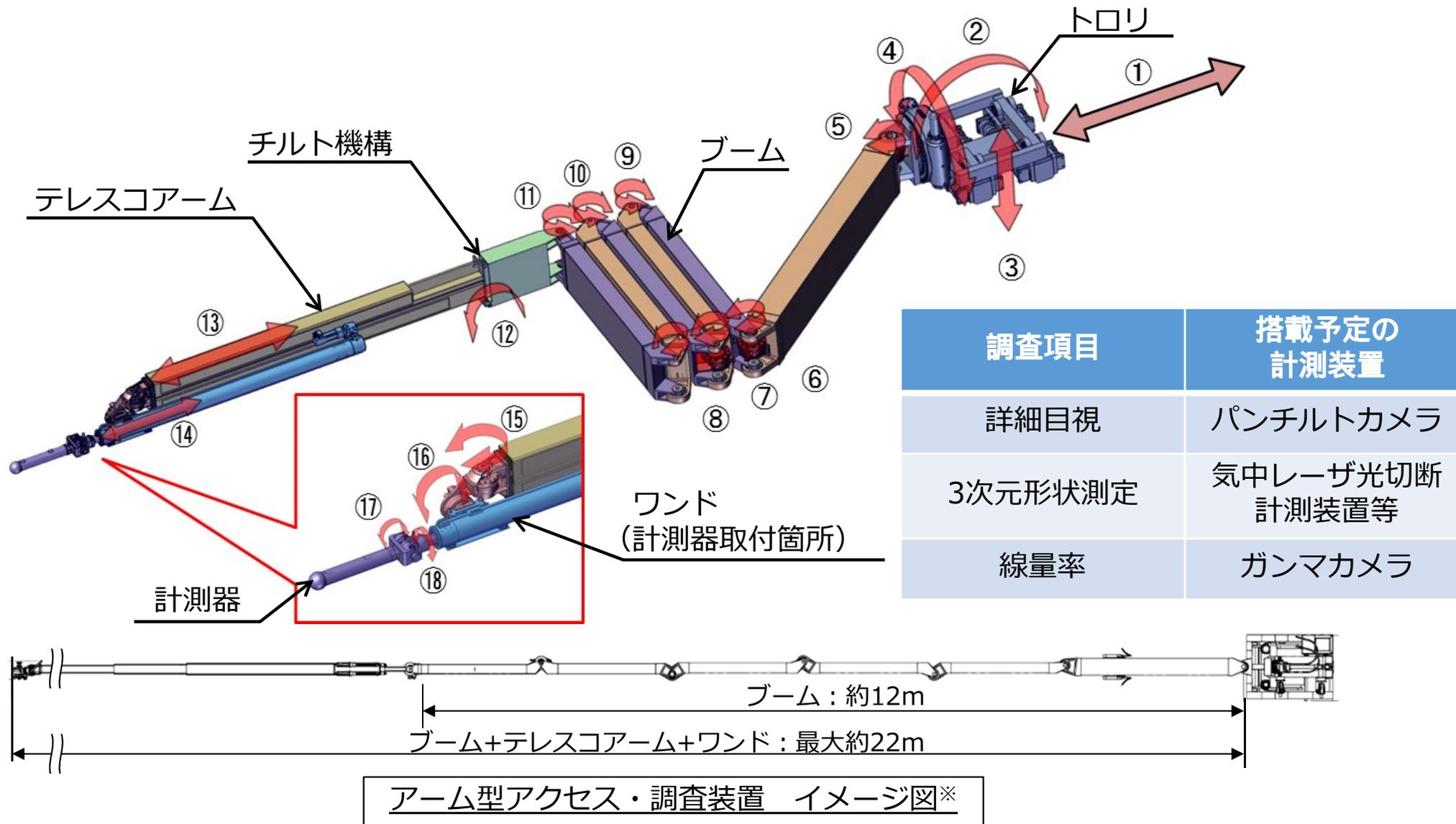
- 2号機PCV内部調査においては、主にペDESTAL内における構造物や堆積物の分布等を把握するためのアクセス・調査装置を開発中。
- 2号機PCV内は水位が低く、またX-6ペネが使用できる状況であることから、アクセス性の向上、ペイロード増加を考慮し、アーム型のアクセス・調査装置を開発中。X-6ペネを開放して構築したアクセスルートから、調査を実施する予定。



2号機X-6ペネからのPCV内部調査のイメージ図※

2号機PCV内部詳細調査（2019年度予定）（2/2）

- アクセス・調査装置の先端には計測器を取り付けるワンドを設けており，調査内容に応じて，必要な計器を付け替える予定。



- 現場作業時には以下の被ばく低減対策を実施
 - 作業の習熟度の向上を図るため、事前に模擬訓練を実施
 - 日々の作業における時間管理を実施
 - 調査中は原則遠隔による操作
 - 仮設遮へいの活用

- 原子炉格納容器内雰囲気の流れによる過剰被ばく防止および作業上の安全対策を行うため、ペネトレーションの開放作業時は隔離部屋に窒素を封入

- アクセス・調査装置の汚染拡大防止のため、調査設備からの窒素封入を実施

- 排気はフィルタにて粒子状の放射性物質の除去、モニタリングを実施

実施工程（案）

下記実施工程は検討中のものであり，変更の可能性あり

	2018年度	2019年度
1. 事前作業（干渉物撤去等）		
2. アクセスルート構築		
3. 内部調査		
4. 実施計画	▽申請（7/25）	